

# 「前進」か「停滞」か！

ひわたし啓祐の政策提言集  
～ みんなの「具約42」～

平成18年4月8日

ひ わ た し 啓 祐

討議資料・ひわたし啓祐後援会事務所

## ひわたし啓祐の思い

1 「武雄に生まれて良かった、育って良かった、帰ってきて良かった」といった「ぬくもり」のある元気な新・武雄市を市民と一緒に創ります。

今、新・武雄市は「前進！」か「停滞！」か、その「岐路」に立っています。今までの武雄市、山内町、北方町での真摯な積み重ねの上に、新たな息吹を吹き込み、新・武雄市創造に向け「前進」させます。

2 しかし、国が進める三位一体改革の衝撃で、一年どころか一刻の猶予もないことを胸に刻み、今までの豊富な行政経験・財政経験を活かして、私たちの故郷、「ぬくもり」のある元気な新・武雄市を創造します。

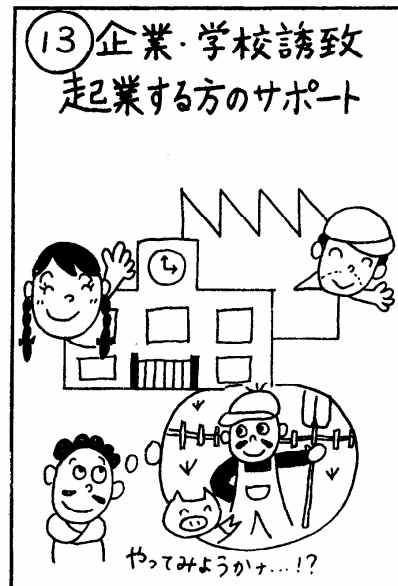
私たちの先輩である合併市町村においては、「合併しないほうが良かった」等否定的な声も聞きます。

3 市町村合併は、私たちの結婚と同じで、成功するか否か、言い換えれば、「前進！」か「停滞！」かは、市町村合併（結婚式）以降、これから問われることなのです。市町村合併は今まさに始まったばかりなのです。

また、まちづくりに成功した全国の市も10数年はかかります。また、財政状況等を見ても、新・武雄市は、一年どころか、一刻の猶予も無いのです。私は、民意が前提ですが、10数年、市政の舵取り役を行いたいと考えています。

4 さあ、みなさん、ひわたし啓祐とともに、次世代につなぐ、「ぬくもり」のある元気な新・武雄づくり、風格ある都市づくりを始めましょう。

ひわたし啓祐の最重点政策です





## こんな武雄にしたい（ひわたし啓祐の政策提言集～42の具約

～）

「ぬくもり」のある元気な新・武雄市実現のために、私が先頭に立って、以下の政策（実現のための道具）を強力に推進いたします。

（\*カッコ内は開始年度（可能な限り前倒しします。） 予算額（単位は万円。国、県等の補助、交付税算入を含みます。）

この政策群のほとんどは、公職選挙法に則った、武雄、山内、北方1万をを越す地域訪問、80回を越すミニ集会、三夜待ち、井戸端会議で出たご意見をきちんと反映した「市民みなさんのお声」です。

これから、さらに意見を募り、最終的に「市民みなさんのための具約」にさせていただきます。

なお、数字に下線を付したもの（例：19）は、3月11日以降、市民の皆さんからご意見を頂いたもので今回、追加いたしました。重点政策については、全体に下線を付しています。

### ぬくもりのある元気な武雄

- ・ 1 年間30回以上、各町で対話集会「市長と語る会・まちづくり塾」を開き、住民の皆さんのお声を聞き、中心部と周辺部のバランスが取れる政策を行います。（H18、予0）
- ・ 2 高齢者、障害をお持ちの方などの目から見た、市役所が行う事務・事業の見直し・提言制度を創設します。（H19、予0）
- ・ 3 佐賀県一になる予定の水道料金、固定資産税の税率、介護保険料等の引き下げに向けて、専門審議会を設け、検討を開始します（H20、予-）
- ・ 4 Uターンの奨励事業「帰ってきんさった奨励補助金」を創設します。住民合意の下に、市内過疎地に5箇所程度、「定住促進特区」を創設し、特区内に世帯で住居を新築した場合等、初年度は5世帯、一世帯100万円を限度に補助いたします。（H20、予500）
- ・ 5 古川康佐賀県政に呼応し、情報公開を積極的に進め、特に、新・武雄市のホームページを全国有数のものに作り上げます。その際、「こちら市長室」から市長の日常の毎日配信や、市民が使いやすい「高槻市役所型」の推進を

- いたします（なお、高槻市役所のホームページは一年で全国3位にまで押し上げました。）（H20、予200）
- ・ 6 空き農家、農地情報バンク制度を開始します。具体的には、石川県を参考にして、遊休農地と空き農家の実態を調査し、農地と農家をセットにして、都市住民等に貸し出し、あるいは売却し、新たな担い手として、武雄にお越しいただくこととなります。（H20、予0）
  - ・ 7 全国に世界に、武雄の「ぬくもり」のある元気な新武雄そのものをアピールし奇跡的な沖縄再生で培った経験を元に、観光、産業を活性化します。（H18、予-）
  - ・ 8 障害をお持ちの方の積極的な雇用に、まず市役所から取り組みます。（H20、予0）
  - ・ 9 NPO等市民団体とそれぞれ、協定を結び、市役所の仕事を可能な限り、NPO等に外部委託し、行政改革と市民サービスの向上に寄与します。（H19、増収）
  - ・ 10 「顔の見える」市役所実現のため、ケーブルテレビの市政案内は掲示板案内を廃止し、関係職員や関係団体に出演してもらい、生の情報を届けてもらいます（高槻市ケーブルテレビでは大きな成果を挙げました。）（H18、予0）
  - ・ 11 市長「自宅送迎」を廃止し、徒歩・自転車通勤等に切り替え、顔の見える元気な市長を目指します。（H18、予0）
  - ・ 12 総務省、佐賀県と協議を早速開始し、収入役を廃止の上、二人副市長制を実現し、広域化した新・武雄市への目配り、庁内分権の徹底を図ります。併せて、庁内の組織変更を行い、武雄ブランド戦略室、こども課、食育課、NPO課等今求められている課を設置し、武雄の情報発信の強化に努めます。（H18・H19、予0）

## 夢のある武雄

- ・ 13 関西大学や多くの企業誘致の経験、そして幅広いネットワークを活かし、全国から企業、学校等の誘致を図るとともに、「起業」をされる方々を税制等の優遇により積極的に支援し、働く場の確保・創出、賑わい創出、福祉・子育てに配分する税収増に努めます。（H20、増収）
- ・ 14 全国に誇る農業と食と器を市長が先頭に立って、全国にアピールし、一方、学校給食等で米粉パンの導入等、地域の「地産地消」の推進を強力に

図ります（私は高槻において、食育・地産池消を強力に進めてきました。）  
（H19、予300）

- ・ 15 古川康佐賀県知事と共に、「アジアのシルクロード」というべき西九州新幹線の積極的推進を図り、次代を見据えた広域的なまちづくりを合わせて行います。（H18、予-）
- ・ 16 カナダ、アメリカ、中国等との姉妹・友好都市を結び、中高生を中心にした国際交流（ホームステイ等）を積極的に推進します。その上で、意欲あるアシスタント・イングリッシュ・ティーチャーを招聘します。（H21、予500）
- ・ 17 ニート対策の一環として、「学校ハローワーク」をスタートします。具体的には、市内中学校に、分野別の一流の職人、自営業者、サラリーマン、公務員等呼んで、講演、相談していただきます。中学時代から自分の将来の夢を持てるように指導します。（H19、予100）
- ・ 18 私の知人であり全国的に著名な料理研究家、農業経営者らに「市民アドバイザー」になっていただき、市民に健康や食育、スポーツの大切さをアピールします。（H18、予100）
- ・ 19 「たけおさるこう！プラン」を策定し、市民、観光客が歩（さる）いて廻るウォーキング・ルートの地図、ウォーキングスタンプなど、楽しく廻れる企画を併せて立案し、「安全と足のために」歩行者専用道路を積極的に整備します。武雄市が「たけおさるこう！プラン」に基づき、病気にならない強い体力、健康の維持・向上に努めます。（H19、予100）
- ・ 20 市役所・支所に関して、郷土画家や市内の子どもたちの絵を100枚単位で展示し、ミュージアム化を図ります（高槻市役所では、私の発案で100枚の絵を展示し、市民から好評。）（H19、予0）
- ・ 21 ネーミングライツの積極的な活用を行います。横浜の中田市長を見習い、市の関与する施設等、広告を入れ、市の一定の収入に充てることとします。（H18、増収）

## **安全・安心の武雄**

- ・ 22 全国で初めてとなる高齢者等宅派遣事業「動く市役所制度」の創設を行い、あわせて、児童の見守り事業、地域の見回り事業も行います。（H18、予100）
- ・ 23 循環型社会構築を目指し、新・武雄循環型社会計画を策定し、まず、ご

みの分別見直しを、開始いたします。可燃プラスチックの扱いを特に検討し、分別の細分化を図り、焼却後空気の清浄化を図ります。なお、中間処理物は、資源の再利用として積極的に図ります。(H20、予0)

- ・ 24 携帯電話等でも見ることのできる、たけお・子育て掲示板を武雄市役所ホームページ上に立ち上げ、子育て世代の悩みを子育てサポーター(市民有志から成る)も参加し、意見交換してもらいます(高槻市で大盛況でした。)(H18、予10)
- ・ 25 障害児をお持ちの保護者の皆さんへの積極的なサポート制度、集いの広場の創設を行います。(H20、予100)
- ・ 26 高齢者・障害をお持ちの方、子育て中の皆さんが積極的に社会参加できるよう、市街地バリアフリーマップを作成し、その上で、ユニバーサル・デザイン計画を策定し、計画に則ってバリアフリーを進めていきます。(H21、予1000)
- ・ 27 胃がん等の原因となり、高齢者の保菌率の高い「ピロリ菌」等の全国でも最先端の予防接種の導入・補助について専門家の意見を聞きながら、具体的な検討を開始します(H19、予算-)

## 女性活躍の武雄

- ・ 28 市役所を始め関係団体等において、意欲のある女性が活躍できる場を創出します。(H18、予0)さらに、婦人活動の活発化、地元活動の推進のため、老人会、婦人会活動に一定の助成を行います。(H20、予-)
- ・ 29 審議会等への女性登用は40%を目標にし、女性の意見を市政に反映します。(H21、予0)
- ・ 30 女性の目から見た市役所が行う事務事業の見直し・提言制度を創設します。(H18、予0)
- ・ 31 市民有志のご協力をいただくことを前提に、子育てホットラインを新設し、電話相談、面接相談(予約制)を平成19年度後半から行います。(H20、予50)
- ・ 32 「子育てならば新・武雄市」と呼ばれるような新たな事業を行い、特に、初年度は三人目の児童をお持ちの世帯の負担軽減策を行い、順次拡張を検討します。(H20、予-)さらに、交通至便のところを念頭に「子育て総合支援センター(児童館)」を設置し、子育ての総合的支援を図ります。(H20、予-)

## 誇りある武雄

- 33 武雄が誇る「如蘭塾」を大きな国際交流(16参照)の拠点に位置付け、さらには文化学習、文化の情報発信等の一大拠点となるように、ハード、ソフト両面から積極的な支援を行います。さらに、専門審査委員会のお力を借りて、飛龍窯自体を再調査した上で、飛龍窯周辺地域の再整備を図ります。(H18、予-)
- 34 “大字富岡7777 西浦1の2”というように、郵便地名の「復活」を図ります。市民、郷土史家等から成る有識者懇談会で幅広いご議論をいただきます。(H21、予100)
- 35 武雄が全国に誇る数々の優れた「文化」に対して造詣を深め、市長が先頭に立って、その保存、再生、アピールに努めます。(H18、予0)
- 36 「徒然なか」等、古語の残る優れた地元言葉を再発見し、広報や議会答弁等、地元言葉で行い、郷土の再発見に努め、次世代に引き継ぎます。(H18、予0)
- 37 武雄の景観を「財産」と捉え、景観条例を策定し、特に、全国に誇る黒髪山周辺、御船山周辺、武雄温泉街について景観最重点地区とします。(H20、予0)
- 38 ご苦労された高齢者の皆さんを小中学校にお招きし、戦前・戦中の実体験を語っていただく「武雄語り部」制度を創設します。(H19、予50)
- 39 新・武雄市にそびえる樹齢3000年の3本の大楠(川古の大楠、武雄の大楠、塚崎の大楠)を、地球環境問題を考えるメッセージシンボルとして、小中学校教育や観光を絡ませた企画を行い、実行委員会形式として、ホームページ等を活用し、日本に世界に情報発信します。(H18、予50)
- 40 武雄のお土産等で特に優れたものは、外部評価委員会を設け、審査をしていただいた上で、「武雄ブランド品」を認定し、武雄らしいデザインに優れた包装をした上で、地元から全国に積極的に販売します。(H18、予100)
- 41 武雄出身、または武雄ファンで全国においてご活躍中の皆さん(100名を想定)を「武雄大使」として任命し、全国隅々で武雄の情報発信をしていただきます。なお、武雄市役所のホームページに「大使の部屋」として、専用ページを設けます。(H18、予0)
- 42 武雄市が誇る芸術家を市認定芸術家(武雄未来遺産)として、積極的にPRします。選定は市民から成る選定委員会で行っていただきます。例えば、

ピアニストであれば、市役所ホームページのネットラジオで世界中継し、画家や陶芸家であれば、市役所ホームページ等で積極的に日本に世界に情報発信します。(H18、予200)

#### 留意点

- ・ 合併協議会での結論、武雄市総合計画等の既存の議論・結論の上に、上記提言を加味いたします。
- ・ 上記提言については、ほとんど予算がかからず、しかもブランド発信力を持つ政策であると考えます。では、なぜ、従来の自治体が今まで行って来なかったか。それは、トップの「やるか」、「やらないか」、その違いだけだと思います。やる気のある同僚職員の能力を引き出し、市民の皆さんと協働し事業を進めていきます。
- ・ 上記提言集は「打ち出の小槌」では無く、私自身が実際に決断と実行をし、東京、沖縄、大阪、唐津で行ってきたものを下地にしています。過去の私の実績は、NHKをはじめ、新聞各紙等に大きく取り上げられてきました。
- ・ 合併協議会で協議された事業を含む各種事業について、必要な財源については、私自身が沖縄や大阪で行ったように、市民の意見を募り、市民合意の上で、不要不急の事業を洗い出し、一方で行政改革を進める中で財源を捻出いたします。さらに、上記提言の柱である企業・学校誘致を積極的に行い、財源を確保いたします。
- ・ 最も重要なことですが、上記提言を誠実に実行することは、市町村合併が体感できる事業につながり、また、そのために、行財政基盤の確立、旧市町に一定の自治権の確保、外部監査制度の導入に努めます。

#### ひわたし啓祐とは？

樋渡啓祐。武雄市にて生まれる(36歳)。武雄中学、武雄高校、東京大学卒業後、総務庁(現総務省)入りし、以降、沖縄開発庁、内閣官房、内閣府、高槻市役所等にて勤務。その間、唐津市役所市政アドバイザーも勤める。元・高槻市市長公室長(企画部長)、前・総務

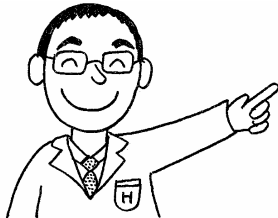
省大臣官房秘書課課長補佐

以 上

# せい さく つう しん ぼ 政 策 通 信 簿

今回、市民の皆さんにわたしの想いが通じたならば  
ひわたし啓祐の最重点政策を市民の皆さんが採点して  
新・武雄市での4年後のひわたし啓祐に渡して下さい。  
政策通信簿の例を一つだけ挙げましたが、ご関心の深い分野、  
あるいは、全ての政策を採点して頂いて構いません！

- 評価は4段階でお願いします。 A : 具約の通り、よく実行されました。  
B : ほぼ実現され、評価に値します。  
C : 不十分な点が多く、内容を改めましょう。  
D : 何も実行されず、不可です。



## ぬくもりのある元気な武雄

- 1 年間30回以上、各町で対話集会「市長と語る会・まちづくり塾」を開き、住民の皆さんのお声を聞き、中心部と周辺部のバランスが取れる政策 を行います。(平成19年開始予定、予算0円)



評価 \_\_\_\_\_

ご意見・ご質問

- 
- 
- 

わたくし、ひわたし啓祐は、子供から高齢者の方まで、皆さんといっ

しよに新しい武雄を創りながら故郷の発展の為に尽くしたいと思っています。最後に、ひとつだけの質問とみなさんのことを教えて下さい。

質問：あなたも、新しい武雄のために何か地域奉仕活動・まちづくり活動をされていますか？

回答：

住所

氏名

年齢

職業

所属団体

( N P O 福祉関係 商工会 青年会議所 役所 学校(小・中・高含む) なし )

差し支えなければ、あなたの連絡先と所属団体名をご記入下さい。(メールアドレス可)

・

ご協力ありがとうございました